セイフルニュースレター

省エネ“なう”通信



2026年11月号　第148号

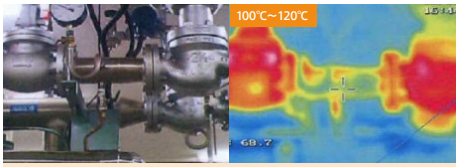
セイフルの最新情報はこちらから
www.safulle.co.jp

事業内容：工業用配管設備工事 / サニタリー配管工事 / 冷暖房空調設備工事 / 防犯設備工事(ISO対象外)
さく井工事 / 衛生設備工事 / 消防設備工事 / LPガス販売事業 / ガス、厨房設備工事 / 家庭用通信機器事業

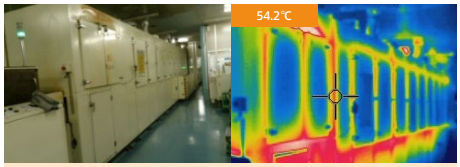
来年の設備計画を立てるこの時期に
熱の隠れロス対策



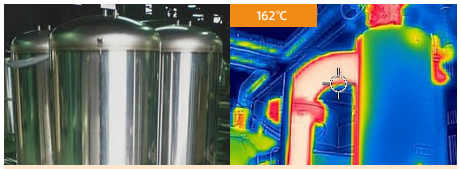
このような場所から熱ロス（エネルギーロス）が発生しています…！



蒸気配管からの放熱



工業炉からの放熱



温水タンクの放熱

セイフルが「熱ロス診断＆熱ロス削減シミュレーション」実施します！



- ☑ サーモグラフィーを活用して熱漏れ簡易診断
- ☑ 蒸気使用設備などの熱源を中心にラインを一通り追いかけて熱漏れがないかを確認
- ☑ 断熱材の上からでも50℃以上ある場合は、保温方法を見直すことで、さらなる熱ロスの抑制（省エネ）が可能に！
- ☑ 熱漏れ箇所があった場合には「遮熱シート」や「断熱材」を通した、熱ロス削減をご提案

省エネ・コスト削減・設備のことなら
何でもお気軽にご相談ください

Safulle
セイフル株式会社

埼玉県深谷市上野台2423-6
TEL:048-572-2442　FAX:048-572-6840
担当：棚澤・舞原（たなざわ・まいはら）　www.safulle.co.jp

真冬の配管の“凍結防止”対策

～ 今年の冬は関東でも大雪予報が出ています ～

① 水やお湯が出なくなる（断水・作業停止）

厳冬期の朝や冷え込んだ日に蛇口や給水ラインが凍結し、手洗い、トイレ、工場内での洗浄や製造プロセスに必要な水が一時的に一切使えなくなる。



② 配管の破損・破裂による漏水

凍結して体積が膨張した水によって、配管や継手、バルブなどに亀裂や破裂が生じ、気温が上がって解凍された際に大量の水漏れが発生する。



③ 製造ライン・設備の停止と大きな経済的損失

ボイラーや冷却水、受水槽につながる重要設備が停止することで工場全体の生産活動がストップし、緊急修繕の高額な費用や操業停止による多大な経済的損失に。





凍結を防ぐ3つの有効なアプローチ

バンドヒーター



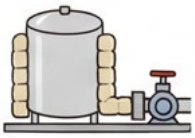
電気特性に優れ、熱導電性が高いヒーター。配管やバルブなどの局所的な温めに最適。

自己制御ヒーター



周囲の温度変化に応じて発熱量が自動調整されるため無駄な電力消費を抑えながら安全に凍結を予防。

保温材



外気にさらされやすい機器やバルブまわりに適切な保温材をしっかりと施工。

ヒーターの誤った使い方にはご注意ください



配管の凍結防止はセイフルまでご相談ください



お客様お問い合わせ記入欄

内容に関して、ご興味がありましたら下記をご記入の上FAXして頂くか、お電話にてお問い合わせ下さい。

- ☐ 熱ロス対策について相談したい
- ☐ 配管の凍結防止について相談したい

WEBフォームからもお問い合わせ頂けます

TEL:048-572-2442　FAX:048-572-6840

貴社名:

ご担当者名:

ご住所:

電話番号:

メールアドレス:　　@